

## 

令和6年度 11月29日 NO. 35





「ふるさと学習」を通して学ぶことができるのだと感じました。

昔の人のこうした生活を豊かにし、

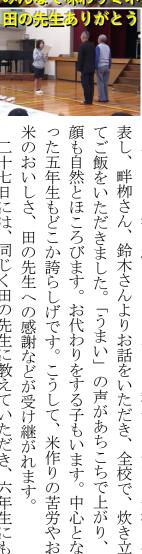
心を豊かにする知恵も、



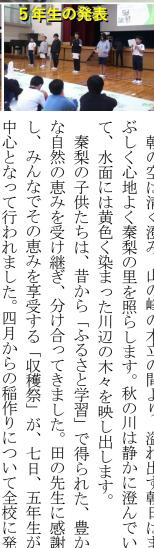












かにするために、手間をかけおいしいものを作ってきたのでしょ れど、自分たちで作ったものは、売り物とは比べ物にならないほ れ時間や入れ加減から、こんにゃくの練り方、湯から取り出すこ りますが、実際はそんなに簡単ではありません。水の量、火の 米のおいしさ、 現在でも、 なければ分かりません。こうした感覚は、 協力してもらって、三年生が、自分たちが育てた芋で「こんにゃ んにゃくの硬さなど教えてもらいますが、実際に見て、やってみ く」作りをしました。当然「こんにゃくの作り方」のレシピは た感覚の伝達が、 こんにゃく自体、栄養はあまりないと鈴木さんは言います。 一十七日には、 いです。昔の人もきっと、こうして自分たちの生活を豊 自分で体験しなければ、身につきません。そしてこう 田の先生への感謝などが受け継がれます。 同じく田の先生に教えていただき、六年生に 体験学習の貴重で大事な点だといえます。 いくら情報が多くある

ぶしく心地よく秦梨の里を照らします。秋の川は静かに澄んで 朝の空は清く澄み、 秦梨の子供たちは、昔から「ふるさと学習」で得られた、 水面には黄色く染まった川辺の木々を映し出します。 山の峰の木立の間より、 溢れ出す朝日は

みんなでその恵みを享受する「収穫祭」が、七日、五年生が

田の先生に感謝

全校で、炊き立

友達アンケートありがとうございました。 一人一人のアンケ -トを受け、子供の 生徒指導や学級運営に役立てています。今後も気づいたことがあれば、お伝えください。

○26日より駆け足を開始しました。朝のチェック、およびタオル等の準備ありがとうございます。